



# 寺報

2020年（令和2年）

No. 297

# 8月号

Zenkyo ji monthly  
Communications Paper  
**E n** [えん]

# 缘

## 元号寺シリーズ(その1)

## 延暦寺（天台宗総本山・滋賀県大津市）

比叡山に広大な寺域を持つ、天台宗の総本山。

奈良時代末期、19歳の伝教大師最澄(767-822)が、比叡山に登り草庵を結んだのが始まりです。延暦7年(788年)には、「一乗止觀院」を創設。

時の桓武天皇は伝教大師最澄に帰依していましたが、元号を冠した「延暦寺」の寺号が許されたのは、次代嵯峨天皇の時です。

全盛を誇った平安時代末期には、三塔・十六谷・三千坊を数えていたといわれています。

「延暦寺」とは、比叡山の山内にある1700ヘクタールの境内地に点在する約100ほどの堂宇の総称です。「延暦寺」という一棟の建造物があるわけではありません。

山内を地域別に、東を「東塔」、西を「西塔」、北を「横川」の三つに区分しています。これを三塔と言い、それぞれに本堂があります。



東塔の根本中堂



西塔の釈迦堂



横川の横川中堂



欄間上の枠合い雲柄金紙張り修復しました

れる寺院がそれですが、天皇の発願によつて建てられた勅願寺が原則とされています。しかし実際の理由は様々のこと。元号寺シリーズ、お楽しみに。

はならないのでしょうか。

八月八日の盂蘭盆会納骨法要は、従来通りの法要を勤める予定でしたが、そのような状況ではなさそうです。でも、なんとか法要開催できないか、考え中であります。

さて、今月号から、元号寺シリーズとなりました。令和になつた時に、この話題をすればタイムリーだつたのですが、これから数カ月に渡つて、元号寺についてお伝えしていきますね。

この元号制度ですが、「天化」より「平成」まで、千三百余年の歴史の中で、二百四十七の元号が移り変わつてきました。

様々な社会状況の中で、国家の安寧を願つて定められる

## 住職レター

コロナの第二波でしょうか、東京都の新規感染者数が三百人を超える、ここ広島でも、二桁になりました。再度の自粛は勘弁して欲しいところですが、もう一度、感染拡大防止の気持ちを高めていかなくてはならないのでしょうか。